

	2010年3月	2010年4月	2010年5月	最近の経済動向
世界	-NY原油86.8ドル -2月:世界半導体売上高56%増	-G20:世界経済回復予想以上、民需回復迄支援後出口 -GDP:10年:IMF:世界4.2%、米3.1、欧1日1.9、中10、インド8.8、ブラジル5.5、ロシア4% -1-3月:パソコン世界出荷24%増 -世界半導体売上:3月:58%増	-ギリシャ財政悪化で世界株全面安	・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需拡大等で力強く回復し世界経済を牽引。米、日の先進国経済は景気対策効果、新興国への輸出、投資収益の増加等で回復傾向。ギリシャ財政危機の影響が懸念材料。
日本	-財政:10年度予算92.3兆円過去最大 -株価:8日一時1万542円台、30日1万1,035円 -雇用:2月:失業率4.9%、0.2ポイント低下 -所得:2月:勤労者世帯収入1.3%増(7ヶ月ぶり) -物価:2月:消費者1.2%下落12ヶ月連続 -消費:2月:消費支出0.5%減、小売業販売4.2%増、新車販売20.4%増、住宅着工9.3%減 -受注:2月:機械26.7%増、工作機3.2倍 -生産・出荷:2月:鉱工業31.3%増、在庫7.5%減、自動車74.8%増 -貿易:2月:輸出45.3%増、輸入29.5%増 -収益:3月期:営業益:エルビータ200億円黒、純益:三菱電2倍250億円 -投資・開発:エルビータ35ナノ年内量産、東芝20ナノフラッシュ量産	-株価:2日一時1万1300円台、20日1万897円 -人口:09年10月:1億2,751人0.14%減 -雇用:3月:失業率5%、0.1ポイント悪化 -所得:3月:現金総給と0.8%増(22ヶ月ぶり+) -物価:3月:消費者1.2%下落13ヶ月連続 -消費:3月:消費支出4.4%増、小売販売4.7%増、新車販売23.5%増、フラッシュメモリ品薄、住宅着工2.4%減 -受注:3月:工作機械3.6倍 -生産・出荷:3月:鉱工業30.7%増、自動車71.2%増 -貿易:3月:輸出43.5%増、輸入20.7%増 -収益:資源高・デフレ狭み撃ち、1-3月:営業益:コマツ320億円、3月期:純益:ホンダ96%増2,684億円、京セラ36%増400億円、リコー3.8倍250億円、営業益:トヨタ500億円、ダイキン640億円、最終損益:東芝200億円赤、シャープ43億円黒、エルビータ20億円黒字、 -投資・開発:東芝環境対応車向けモーター生産2倍、日立リチウム電池寿命2倍、シャープLED量産、エルビータ4ギガDRAM開発、10年度:電子部品大手5社50%増2,600億円、11年:トヨタリチウム電池ハイブリット車量産	-政策:日銀、環境・R&D 融資銀行に低利融資 -株価:7日1万364円台ギリシャ、11日1万809ドル -所得:夏ボーナス2.8%増 -消費:4月:新車販売24.1%増 -収益:3月期:純益:三菱商26%減、住商28%減、物産16%減、三菱電2.3倍282億円、ミネハア88%増、HOYA51%増、営業益:パナソニック2.6倍1,904億円、東芝1,171億円黒、ソニー数百億円黒、最終損益:三洋電487億円赤 -投資・開発:12年迄:三井物産資源開発、海外インフラに1.2兆円、三洋電充電電池、太陽電池に2千億円、ミネハアHDD等に900億円、	(前々月)・GDPは輸出主導で回復傾向、緩やかなデフレ。企業業績10-12月期大幅回復。輸出回復傾向。設備投資増加の兆し。所得下げ止まり傾向、失業率高止まりも個人消費は緩やかな回復傾向。自動車販売は回復傾向、住宅低迷。受注、生産も回復傾向。景気回復、デフレ・物価上昇、雇用確保が最大課題 (前・今月) ・GDPは輸出主導で回復傾向、デフレ傾向続く。企業業績10-12月期以降急回復。輸出急回復。設備投資回復傾向。所得下げ止まり傾向、失業率高止まりも個人消費は緩やかな回復傾向。自動車販売好調も住宅低迷。受注、生産も回復傾向。景気回復、デフレ・物価上昇、雇用確保が最大課題
アジア・大洋州	-アジア:総合開発計画650件18兆円 -中国:2月:輸出45.7%増、輸入44.7%増、新車販売46.3%増121万台、対中直接投資1.1%増7ヶ月+、物価2.7%上昇、10年:GDP9.5%、財政支出11%増110兆円、09年:吉利純益34.5%増、15年:吉利車生産5倍150万台、次期5ヵ年計画:環境に40兆円、スマートグリッド活用電力供給に50兆円、高速鉄道12年迄12兆円 -台湾:2月:輸出32.6%増、輸入45.8%増 -韓国:LGディスプレイ第8世代液晶パネル生産1,200億円、2月:失業率10%10年ぶり高、輸出31%増、輸入36.9%増、新車販売前月比10.8%減、09年:営業利益2%増 -タイ:2月:自動車生産2.1倍12.8万台、輸出23%増、輸入71%増 -インドネシア:1月:輸出59%増 -インド:10-12月:企業純益27%増、09年:新車販売28.1%増248万台、2月:鉱工業生産15.1%増、資本財生産44.4%増、新車販売43%増25万台、卸売物価9.8%上昇	-アジア:GDP:アジア7.5%、中国9.6、韓国5.2、台湾4.9、ネパール5.5、タイ3.5、インド8.2、1-3月:ASEAN新車販売41%増 -中国:沿海部最低賃金21%引上げ、不動産に資金流入、3月:輸出24%増、輸入66%増、新車販売55.8%増174万台、車生産57.6%増、消費者物価2.4%増、1-3月:GDP11.9%増、固定資産投資26.4%増、小売売上高17.9%増 -台湾:3月:輸出50.1%増、受注44%増、海外受注43.7%増、1-3月:純益:ホンハイ34.8%増179億台湾ドル、イサー63%増32億台湾ドル、アスス11倍49億台湾ドル、TSMC3.1%増、 -韓国:サムスン20ナノフラッシュ量産、3月:輸出35.1%増、輸入40%増、1-3月:GDP7.8%増、設備投資前期比0.8%増、プラント受注5.9倍、10年:GDP5.2% -タイ:3月:消費者物価3.4%増 -ベトナム:1-3月:自動車生産2.3倍、消費者物価8.5%増 -インドネシア:1-3月:自動車販売73.6%増 -マレーシア:3月:輸出36%増 -インド:0.25%利上げ年5.5%へ、3月:新車販売28.8%増、1-3月:M&A76%増、純益:インフォス8.7%増325億円、TCS60%増、10年:GDP8%	-アジア:投資マネー流入、アジア株全面安ギリシャ問題で -中国:上海万博開催(11月迄)、預金準備率0.5%引上げ17%へ、中国株年初来安ギリシャ問題、4月:輸出30.5%増、輸入49.7%増、新車販売30%増 -韓国:サムスン液晶パネル440億円、3D・LEDTV増産、LGディスプレイ液晶パネル600億円、1-3月:純益:現代自19.2%増950億円、営業益:サムスン前期比28%増3,750億円、LG2.6%増440億円、LGディスプレイ2倍、ハイニックス13%増670億円 -インド:4月:新車販売39%増23万台	(前々月)アジア株上下、中国のGDP拡大傾向、固定資産投資、消費高水準、輸出回復へ。韓国、台湾は企業業績改善頭打ち、生産、輸出、投資好調、GDPは比較的高水準。インド経済拡大へ、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも回復傾向。景気の持続的回復課題。インド、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)中国の経済拡大、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復。韓国、台湾は輸出・生産・投資好調、企業業績好調、GDP高水準。インド経済拡大へ、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも回復傾向。景気の持続的回復課題。インド、ベトナム等でインフレ懸念

北米	<p>-景気:FRB 景気回復広がる、民需は力強さ欠く</p> <p>-財政・金融:10年債利回り4%へ</p> <p>-株価:6日1万566ドル雇用悪くない</p> <p>-雇用:2月:失業率9.7%、横這い</p> <p>-物価:2月:卸売前月比0.6%減、消費者横這い、</p> <p>-消費:2月:個人消費前月比0.3%増、小売売上高3.9%増、新車販売13.3%増、住宅着工0.2%増、前月比5.9%減、新築住宅前月比2.2%減</p> <p>-受注:2月:耐久財前月比0.5%増</p> <p>-生産:2月:鉱工業前月比0.1%増、8ヶ月連続+</p> <p>-貿易:2月:輸出前月比0.2%増、輸入1.7%増</p> <p>-投資:20年:1億世帯に高速通信網</p> <p>-収益:12-2月:純益:オクル11%減1,100億円、18.5億ドル</p>	<p>-景気:FRB ほぼ全地域で改善</p> <p>-GDP:1-3月:前期比年率3.2%、3期+、消費3.6%増、投資4.1%、輸出5.8%</p> <p>-株価:16日1万1,140ドル、28日1万992ドル</p> <p>-雇用:3月:失業率9.7%、横這い</p> <p>-所得:3月:可処分所得前月比0.3%増</p> <p>-消費:3月:個人消費前月比0.6%増、小売売上高9%増、前月比1.6%増、卸売上高前月比0.8%増、新車販売24.3%増106万台、住宅着工前月比1.6%増、中古住宅16%増、</p> <p>-生産:3月:鉱工業前月比0.1%増、9ヶ月連続+</p> <p>-収益:1-3月:純益:主要500社50%増、IBM13%増2,400億円、GE31%減1,800億円、インテル3.9倍24.4億ドル、アップル90%増2,860億円、TI5.4%増3千億円、AMD23.9億ドル、J&amp;J29%増4,210億円、マイクロソフト35%増41億ドル、グーグル37%増、ヤフー2.6倍2,880億円、最終益:フォード1,960億円黒、キャタピラ-220億円黒、トヨタ6,900万ドル、</p>	<p>-株価:7日NY株1万520ドル、ギリシャ財政危機</p> <p>-雇用:4月:失業率9.9%、0.2%悪化雇用29万人増</p> <p>-消費:4月:小売売上高0.8%増5ヶ月+、新車販売19.8%増</p>	<p>(前々月)GDPは回復傾向。企業業績1-3月は回復基調。株価上下、大幅な財政赤字。輸出は増加傾向、投資持ち直し。失業率高水準高止まりも個人消費は回復傾向、新車販売回復傾向。受注、生産も緩やかに回復。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>GDPは回復傾向(3期+)。大幅な財政赤字。株価下落傾向。輸出は増加傾向。失業率高水準高止まりも個人消費は回復傾向、新車販売好調。受注・生産・投資も緩やかに回復。企業業績1-3月は大幅な回復。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-政策:欧州2020成長戦略発表</p> <p>-雇用:2月:失業率ユーロ10%0.1%悪化、独7.5、仏10、蘭4、スペイン19%</p> <p>-消費:2月:小売売上高:ユーロ1.1%減、独0.9%減、仏2%減、英2.8%増、ポーランド5.8%減、新車販売:ユーロ5%増、独30%減(支援切れ)、仏18%増、英26%増、伊21%増、スペイン47%増、</p> <p>-受注:2月:製造業:ユーロ12%増、独24.5%増、仏3%減、英20%増、ポーランド11.4%増</p> <p>-生産:2月:鉱工業:ユーロ1.4%増、独6.8%増、仏3.2%増、英1%増、蘭7.2%増</p> <p>-貿易:2月:ユーロ輸出10%増、輸入6%増、独輸出9.6%増、輸入4.2%増</p>	<p>-政策:ギリシャ、EU、IMFに5.4兆円支援要請、ギリシャ国際格下げ</p> <p>-GDP:1-3月:英前期比0.2%増</p> <p>-雇用:3月:失業率ユーロ10%横這い</p> <p>-物価:3月:インフレ率1.4%</p> <p>-消費:3月:新車販売:欧州12%増、独27%減、仏18%増、英26.6%増、スペイン63%増</p> <p>-収益:1-3月:純益:シメンス48%増1,900億円、ノキア2.9倍430億円、VW61%増530億円、ダイムラー730億円黒、最終益:フィリップス250億円黒字、ユニエリクソン26億円、STマイクロ53億円黒、フィアット25億円黒、営業益:ダイムラー1,400億円黒字、</p>	<p>-政策:EU、ユーロ防衛のためIMFと89兆円の緊急融資制度創設合意</p> <p>-GDP:10年:欧州0.9(EU委)</p> <p>-消費:4月:新車販売:独32%減26万台、</p>	<p>(前々月)GDPは独を中心に底打ち傾向。企業業績持ち直し。株価上下。輸出回復傾向、投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、個人消費低迷も自動車販売は回復傾向。受注、生産は底打ちの兆し。景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>GDPは独を中心に底打ち傾向。株価下落傾向。輸出回復傾向、投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、個人消費低迷も自動車販売は独除き回復傾向。受注、生産は回復の兆し。企業業績回復傾向。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p>
中東ア	<p>-トルコ:韓国、原発で共同研究</p>	<p>-イスラエル:10年:GDP3.7%</p> <p>-アフリカ:中国、インド、ブラジル資源争奪</p>	<p>-サウジアラビア:双日、仏スエズと火力発電受注2千億円</p>	<p>・主要国経済は資源価格の上昇で回復の兆し。一方、太陽光、原子力、電力、石化プロジェクト活性化。ドバイショックの鎮静化、イラクアガフン情勢の安定、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:金利据置年8.75%、道路・インフラ整備4.9兆円、2月:新車販売10.8%増23万台</p>	<p>-ブラジル:株価上昇、3月:新車販売30.3%増34万台</p>	<p>-ブラジル:製造業支援開始(輸出企業への低利融資、税金還付)</p>	<p>・ブラジルは消費・輸出・投資中心に回復傾向。メキシコ、ベネズエラ、チリは成長横這い。景気回復が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:インドと原発協力拡大、金利0.25%引下げ年8.25%へ過去最低、2月:新車販売32%減9.1万台</p>	<p>-ロシア:極東開発に28兆円投入、3月:新車販売7%減12万台</p>	<p>-</p>	<p>・ロシアは石油価格の回復等で経済底打ちの兆し。消費、投資弱い。景気回復が課題。</p>